

【公開Ⅰ】2年3組 国語科学習指導案

2年3組教室 青木 笙悟

1 単元名 みんなでかんがえ つたえあおう 楽しいあそび

教材名 おにごっこ

2 指導の立場

(1) 教材について

教材文である「おにごっこ」では、おにごっこの遊び方について「①逃げてはいけないところを決める遊び方」「②逃げる人だけが入れるところを作ったり、つかまらない時を決めたりする遊び方」「③おにが交代せずに、つかまった人がみんなおにになっておいかけるという遊び方」の3つが紹介されている。そして、それぞれのまとまりで、おにや逃げる人の立場から、その遊び方にどんな面白さがあるのかが述べられている。

(2) 児童生徒について

児童はこれまでの説明的な文章の学習において、「たんぼぼのちえ」と「どうぶつ園のじゅうい」で順序を表す言葉に着目して読むことを、「馬のおもちの作り方」で説明の仕方の工夫を考えながら読むことを学習している。そのため、時間的な順序や事柄の順序を考えながら、内容の大体を捉えることができるようになってきている。

しかし、文章の中の重要な語や文を考えて選び出し、それを共有することには弱さが見られる。それは、読み取りの目的意識や相手意識が低かったことが要因として挙げられる。

そこで単元を通して、授業のめあてに加えて、個人の学習のめあてを立てて学習記録表に記録していくことで、児童にとって課題が自分事になり、

主体的に学習に臨めるようにする。また、並行読書で様々な遊びに関する本を読み、単元の出口で学級の仲間に提案するという言語活動を設定することで、児童の目的意識を明確にする。

(3) 指導について

単元の導入では、これまでの生活で体験してきたおにごっこを想起しつつ、みんなでより楽しいおにごっこをすることを目的として設定する。教材文で紹介された3つの遊び方を読み、実際に行っていくことで、読み取った情報を確かめていく。さらに、他にはどんな遊び方があるのか、またおにごっこ以外の遊びではどうかを考え、「学級遊び提案会」を単元の出口に位置付ける。「学級遊び提案会」では、様々な遊びの本を読み、教材文「おにごっこ」を通して育んだ読みを生かして、大事な言葉である遊び方と面白さに着目して重要な語句を選び出し、学級の仲間に知らせる。

本時は教材文に書かれたおにごっこの内、3つ目の遊び方について読み取る場面である。児童はこれまでに紹介された2つのおにごっこの遊び方と面白さに着目して読んでいる。

本時では、キーワードや接続語を手がかりとして、重要だと考えられる語や文を、文章の中からの確に捉えられるようにする。また並行読書として、様々な遊びについて教材文と似たような形式で書かれている本を用意しておくことで、児童が他の文章についても同じ視点で読み、重要な語や文を的確に捉える力を反復・螺旋的に育めるようにする。

3 単元指導計画

学年	第2学年	単元名	みんなでかんがえ つたえあおう 楽しいあそび (全8時間)
単元で育む資質・能力			
<ul style="list-style-type: none"> ・読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができる。〔知識及び技能〕(3)エ ・文章を読んで感じたことや分かったことを共有することができる。〔思考力、判断力、表現力等〕C(1)カ ・文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。〔思考力、判断力、表現力等〕C(1)ウ ・学級の仲間と一緒に鬼ごっこを楽しんだり、学級の仲間楽しい遊びを紹介したりするために、課題意識をもって読書し、自分の考えを伝えようとする。〔学びに向かう力、人間性等〕 			
時	主な学習活動とねらい		評価規準
①	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">学しゅうの計画を立てよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・「おにごっこ」を読み、どんな遊び方があるかを確認、学習の見通しをもつ。 ・「本でのしらべ方」を読み、分かったことをメモすることを確認。 ・様々な遊びについて、遊び方や面白さを見つけ、言語活動として「学級遊び提案会」を位置付ける。 ●本単元の言語活動を確認し、学習目標を設定して学習の見通しをもつことができる。 		遊び方を工夫したおにごっこの面白さ確かめるために、教材文を積極的に読み、これからの学習に見通しをもとうとしている。〔主体的に学習に取り組む態度〕
② ③ ④ 本時	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">おにごっこのあそび方とおもしろさを分かりやすくまとめよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・教材文で紹介されているおにごっこの遊び方と面白さを読み取る。 ・並行読書で他の遊びについて調べ、遊び方や面白さをメモする。 ●おにごっこの遊び方や面白さを相手に伝わりやすいようにまとめることを通して、重要な語や文を選び出すためには本文中に何度も出てくる言葉や接続語の後ろにある文に着目すればよいことに気付き、自分の考えを短い言葉で表現することができる。 		「読むこと」において、重要な語や文を選び出すためには本文中に何度も出てくる言葉や接続語の後ろにある文に着目すればよいことに気付いて、自分の考えを簡潔に表現している。〔思考・判断・表現C(1)ウ〕

⑤ ⑥	<p>自分がしょうかいしたいあそびについてしらべよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学習を生かして、自分が紹介したい遊びについて書かれた本を選び、遊び方や工夫、面白さをメモする。 ●遊びについて書かれた本を読んで調べ、友達に分かりやすく説明するために、遊び方の工夫や面白さをメモすることができる。 	<p>読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。[知識・技能(3)エ] 「読むこと」において、いろいろな遊びについて書かれた本から、自分の紹介したい遊びを探し、その遊び方や工夫をメモし、面白さを考えている。[思考・判断・表現C(1)ウ]</p>
⑦	<p>グループでていあんするあそびをきめよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループで交流し、感じたことを伝え合って、提案する遊びを一つに絞る。 ●異なる遊びを選んだ仲間と交流することを通して、遊び方や工夫に関する叙述に着目して、その面白さを共有することができる。 	<p>「読むこと」において、自分が紹介したい遊びについての遊び方を確認し、その面白さを仲間と共有している。[思考・判断・表現C(1)カ]</p>
⑧	<p>「学きゅうあそびていあん会」をしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時にまとめた遊びについて、グループごとに提案する。 ●「学級遊び提案会」を行い、前時にグループで決めた遊びを提案することで、遊び方や工夫、面白さを、学級の仲間に分かりやすく伝えることができる。 	<p>「読むこと」において、自分が紹介したい遊びについての遊び方や工夫、面白さを仲間と共有している。[思考・判断・表現C(1)カ]</p>

単元で自己実現に向かうための資質・能力を発揮している姿

問題解決力	おにごっこの遊び方や工夫、面白さを読み取ったり、自分の紹介したい遊びを分かりやすく伝えたりするために考え続ける姿。
関係構築力	相手の考えをよく理解するために聞こうとしたり、自分の考えを分かりやすく伝えるために説明の仕方を考えたりする姿。
貢献する人間性	自分の紹介したい遊びについて、遊び方の工夫から面白さを考え、学級の仲間に発信し、活動しようとしている姿。

自己実現に向かうための資質・能力を発揮している姿の見届けの視点と手立て

問題解決力	単元や単位時間、次時への見通しをもった上で自分の学習目標を設定し、単位時間ごとに課題意識をもちながら取り組んでいるか、学習記録表や児童のノート、発言から見届ける。
関係構築力	仲間と対話する中で、自分の紹介したい遊びについて仲間に分かりやすく伝えたり、仲間の紹介したい遊びの面白さを考えたりしているかを交流の様子から見届ける。
貢献する人間性	仲間に自分の紹介したい遊びを伝えようとメモをとったり、仲間の説明と自分の考えを比べて感じたことを仲間に伝えようしたりしているか、「学級遊び提案会」の準備や本番の様子から見届ける。

4 教科にかかわる本時のねらい

おにごっこの遊び方や面白さを相手に伝わりやすいようにまとめることを通して、本文中に何度も出てくる言葉や接続語の後ろにある文に着目すればよいことが分かり、重要な語や文を選び出すことができる。〔思考力、判断力、表現力等〕C(1)ウ

5 本時の展開(4/8)

児童生徒の学習活動	教師の手立てと見届け				
<p>1 本時のめあてを確認する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おにごっこはおにになった人も、逃げる人も、みんなが楽しめるように、工夫されてきた。 ・おにごっこには、逃げてはいけないところを決めるものがある。 ・おにごっこには、逃げる人だけが入れるところを作ったり、つかまらないときを決めたりする遊び方もある。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">三つ目のあそび方とおもしろさを分かりやすくまとめよう。</div> <p>2 教材文に書かれている三つ目の遊び方とその面白さを読み取る</p> <p>○これまで学んできた読み方</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; padding: 2px;">キーワード</td> <td style="padding: 2px;">本文中に何度も出てくる「遊び方」と「面白さ」を表す言葉に着目して読む。</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">つなぎ言葉</td> <td style="padding: 2px;">文の初めにあり、まとまりの内容を捉えるための手がかりとなる。</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・「おにが交代せずに、つかまった人が、みんなおにになっておいかける。」という遊び方もある。 ・「おにになった人は、みんな手をつないでおいかける。」と決める。 ・「あそび方」「おもしろさ」というキーワードがあるから、この文は大切だと思うよ。 ・「ほかに」という言葉があるから、今までとは違う遊び方を紹介しているね。 ・「おに」と「にげる人」も大事な言葉だね。 ・「おに」と「にげる人」には、それぞれどんな面白さがあるかな。 ・「ところが」の後ろにある文の大切だと思うよ。 ・「おにごっこがすぐにおわってしまいます」のどころ？ ・だから「おにになった人は、みんな手をつないでおいかける」と決めるんだね。 ・そうすると、おにには力を合わせておいかけるという楽しさが加わるね。 ・逃げる人はおにが増えるにつれて、つかまりにくくなると書いてあるよ。 <p>3 全体で確認する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おにが交代せずに、つかまった人がみんなおにになって追いかける。 →おには、つかまえやすくなり、逃げる人はどきどきすることも増える。 ・おにになった人は、みんな手をつないでおいかける。 →おには、力を合わせて追いかける楽しさがくわわる、逃げる人はつかまりにくくなる。 <p>4 本時の学びを生かして、並行読書で他の遊びについて調べ、カードにまとめる</p>	キーワード	本文中に何度も出てくる「遊び方」と「面白さ」を表す言葉に着目して読む。	つなぎ言葉	文の初めにあり、まとまりの内容を捉えるための手がかりとなる。	<p>(●教科の資質・能力 ○自己実現に向かう資質・能力)</p> <p>○●児童が学習への見通しや意欲がもてるよう、学習記録表を用いて、前時までの学習や本時の目標を確かめる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>研究にかかわって</p> <p>【見届けの視点】</p> <p>単元や単位時間の見通しをもった上で自分の学習のめあてを確かめ、遊び方や面白さを読み取っているか、学習記録表や児童のノート、発言から見届ける。(問題解決力)</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ●読み取りの際には、遊び方とおもしろさという視点に絞って読み取るように助言する。また、おにごっこには、おにになった人と逃げる人、それぞれの面白さがあることを確かめる。 ●様々な遊びについて紹介されている本を用意し、「遊び方」と「面白さ」に着目して重要な語や文をメモしているか確かめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【評価規準】</p> <p>「読むこと」において、本文中に何度も出てくる言葉や接続語の後ろにある文に着目して、重要な語や文を選び出している。〔思考・判断・表現C(1)ウ〕</p> </div>
キーワード	本文中に何度も出てくる「遊び方」と「面白さ」を表す言葉に着目して読む。				
つなぎ言葉	文の初めにあり、まとまりの内容を捉えるための手がかりとなる。				

【公開Ⅱ】6年2組 国語科学習指導案

6年2組教室 牧村 拓

- 1 単元名 私はこう読む！「鳥獣戯画絵巻物」
教材名 「鳥獣戯画」を読む

2 指導の立場

(1) 教材について

教材文『鳥獣戯画』を読むは、アニメーション映画の監督高畑勲が、「鳥獣戯画」の素晴らしさについて書きまとめた説明的な文章である。特に、鳥獣戯画の優れた描写をより適切に伝えようと、「事実と感想、意見などとの関係」や「文章全体の構成」などを基に、目的に応じて論を進めているという特徴がある。

(2) 児童生徒について

説明的な文章の教材に関わって、第5学年「言葉の意味が分かること」において、児童は文章全体の構成を捉えて要旨を把握した。また、「固有種が教えてくれること」において、資料と文章を結びつけて読むことで正確に理解していく経験をしてきた。

このようにこれまでの学びを見てきたとき、児童は、論の進め方について考えることに関わっては、筆者側に立って表現の意図について考える経験は少なかったことがいえる。それは、単元に位置付けた言語活動において、児童にとって考える必要性がなかったことが理由としてある。

(3) 指導について

本教材文の特徴でもある「論の進め方」について、児童が主体的に考えるには目的が必要不可欠である。そこで、児童が目的をもって論の進め方について考えるために、「筆者の論の進め方を生かして、鳥獣戯画の魅力を書きまとめる」言語活動を設定した。

「鳥獣戯画絵巻物」甲巻の別の場面の中から自分の好きな場面を選び、筆者の説明の工夫を生かしながら、その魅力を表現する文章をつくることを目指す。書きまとめた文章の読み手は、鳥獣戯画が所蔵されている梶尾山高山寺のご住職と、その鳥獣戯画を広めたいと願う担当の深津さんである。お二人の「みなさんの素直な見方で鳥獣戯画の魅力を教えてほしい」という願いを受けたことで、児童は使命感をもって鳥獣戯画を鑑賞し、その魅力を表現することに主体的となり、言葉の意味や使い方にこだわりをもつことができると考える。だからこそ、『鳥獣戯画』を読むの高畑勲の論の進め方を生かしたいと思い必要感をもって考えていくのである。

ここまでは全体を通して見たときの児童への手立てである。加えて、さらに児童一人一人の実態に応じた読み方を学びに位置付けることができれば、より効果的に資質・能力を育成できると考えた。そこで、言葉による見方・考え方を働かせて自分の目的や実態に合った国語の学習をするために、学習記録表を用いることにした。学習記録表とは、単元を通して位置付ける言語活動と、教材文の特徴を理解した上で、自己課題を設定し、その課題に対しての振り返りを記録したものである。自己課題と振り返りの間には、自分が考えたい問いや、発見したことなどの学びもメモすることができるようになっていく。この学習記録表を通して、今の自分の実態を俯瞰し、より自分に合った読み方が実現できることを目指す。

3 単元指導計画

学年	第6学年	単元名	私はこう読む！「鳥獣戯画絵巻物」（全6時間）
単元で育む資質・能力			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 比喻や反復などの表現の工夫に気付くことができる。〔知識及び技能〕（1）ク ・ 目的に応じて、文章と絵などを結び付けるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりすることができる。〔思考力、判断力、表現力等〕C（1）ウ ・ 自分が選んだ「鳥獣戯画」の魅力を読み手に分かりやすく表現するために、課題意識をもって筆者の表現の工夫を見つけたり、論の進め方について考えたりしようとする。〔学びに向かう力、人間性等〕 			
時	主な学習活動とねらい		評価規準
①	<p>学習の計画を立てよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「鳥獣戯画絵巻物」を知る。 ・ 『鳥獣戯画』を読む」を読む。 ・ 相手を位置付ける（高山寺ご住職、担当の深津さん）と出会い、願いを受ける。 ● 本単元の言語活動を確認し、学習目標を設定して学習の見通しをもつことができる。 		<p>「鳥獣戯画」について関心をもち、学習の見通しをもってご住職や深津さんに魅力を発信したいという願いをもち学習に取り組もうとしている。〔主体的に学習に取り組む態度〕</p>
②	<p>絵と文章を照らし合わせながら、筆者のものの見方をとらえよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 筆者の主張に対する自分の考えをまとめる。 ● 筆者が絵のどの部分に着目し、どう評価しているのかを叙述をもとに見つけることができる。 		<p>「鳥獣戯画」にある比喻や倒置法などの修辞法に関する表現の技法について気付いている。〔知識・技能（1）ク〕</p> <p>自分の表現に生かすために、文章と絵を結び付けて必要な情報を見つけている。〔思考・判断・表現C（1）ウ〕</p>
③	<p>鳥獣戯画の魅力を伝えるための筆者の論の進め方について考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高畑さんの用いた表現や構成の工夫について考える。 ● 目的に応じて考えを効果的に伝えるための表現や構成の工夫を捉えることができる。 		<p>自分の表現に生かすために、書き手は自分の考えをより適切に伝えるために、どのように論を進めているのかを考えたりしている。〔思考・判断・表現C（1）ウ〕</p>
④ 本 時 ⑤	<p>筆者の論の進め方を生かして紹介文を書こう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分が選んだおすすめの「鳥獣戯画」を紹介する文章を書く。 ● 筆者の論の進め方を生かして、自分が選んだ「鳥獣戯画」の魅力が伝わる紹介文を書くことができる。 		<p>筆者が自分の考えをより適切に伝えるために、どのように論を進めているのかについて考えている。</p> <p>〔思考・判断・表現C（1）ウ〕</p>

⑥	<p>紹介文を確認して、ポストに投函しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出来上がった紹介文を交流する。 ・高山寺に送るための準備をする。 ●他のグループに紹介文を確認してもらい、互いによい点を伝え合い、単元全体を振り返って学びを確かめることができる。 	<p>鳥獣戯画の魅力を表現するための紹介文から、課題意識をもって論の進め方の工夫を見出し、読み取ったことを生かして自分の考えを伝えようとしている。[主体的に学習に取り組む態度]</p>
単元で自己実現に向かうための資質・能力を発揮している姿		
問題解決力	<p>『鳥獣戯画』を読むから、本文の叙述や絵の示し方などに着目して筆者の説明の工夫を見つけたり、それを自分の文章の中に生かしたりしようと粘り強く取り組む姿。</p>	
関係構築力	<p>全体交流や小グループ交流において、自分の考えを分かりやすく伝えたり、相手の意見を認めたり共感したりする姿。</p>	
貢献する人間性	<p>身に付けた表現の工夫を自分の文章の中に生かしてよりよい文章にしようとしたり、仲間の文章をよりよくするために意見を述べたりアドバイスをしたりしている姿。</p>	
自己実現に向かうための資質・能力を発揮している姿の見届けの視点と手立て		
問題解決力	<p>単元の学習内容を見通して、単位時間ごとに学習活動や自分の実態に応じた自己課題を設定し、振り返りながら取り組んでいるか、学習記録表から見届ける。</p>	
関係構築力	<p>共同的な学びや小グループでの活動における仲間との関わりを通して、自分の考えや文章を見直したり、必要に応じて加筆修正したりしているか、ノートや作文から見届ける。</p>	
貢献する人間性	<p>筆者の論の進め方の工夫を生かした紹介文になっているか、ワークシートから見届ける。</p>	

4 教科にかかわる本時のねらい

『鳥獣戯画』を読む」における筆者の論の進め方を、自分が選んだ「鳥獣戯画」の魅力が発信する紹介文に生かす活動を通して、筆者が自分の考えをより適切に伝えるために、どのように論を進めているのかについて考えることができる。 [思考力、判断力、表現力等] C(1)ウ

5 本時の展開 (4/6)

児童生徒の学習活動	教師の手立てと見届け				
<p>1 本時の活動を確認し、本時の課題（自己課題）を設定する</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">筆者の論の進め方を生かして紹介文を書こう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 私は、□□の描写のところを紹介文に書く担当なので、ここの部分で使える高畑さんの論の進め方を見つけたいです。 僕は、●●の描写のところ、魅力を分かりやすく伝えたいんだけど、どこを生かしたらいいかわからないから、初めからグループの仲間に聞きに行こう。 <p>※児童は上記のように事故を省察して自己課題を設定する。</p> <p>2 筆者の工夫を取り入れながら、自分の選んだおすすめの場面を紹介する文章を書く</p> <ul style="list-style-type: none"> 個や協働で自分が選んだ「鳥獣戯画」の場面の魅力を紹介する文章をまとめる。 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 50%;">個別</td> <td style="width: 50%;">協働</td> </tr> </table> <p>取り入れたい表現方法（論の展開の工夫・表現の工夫）を付箋に書き出していく。 付箋に書いた工夫を生かして、紹介する文章を書いていく。</p> <p>【論の展開の工夫】身近なものに例える、細部→全体、事実→自分の考え 【表現の工夫】書き出しの工夫、体言止め、短文の繰り返し、語り掛けるような書き方 【絵の示し方の工夫】二つに分けて示す→全体を示す</p> <p>※個で進めたり、協働で知恵を出し合ったりするなどして、紹介文づくりを進める。</p>	個別	協働	<p>(●教科の資質・能力 ○自己実現に向かう資質・能力)</p> <p>○●学習記録表を用いて、前時までの学習内容を振り返ったり、単元の学習に見通しをもって臨めるようにしたりする。</p> <p>●論の進め方に沿って考えることができるように、グループで考えるときは高畑さんの説明の仕方を根拠にするように条件設定する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>研究にかかわって</p> <p>【見届けの視点】</p> <p>グループ交流で、自他の考えを比較・検討し、より魅力が伝わる文章にするために話し合ったり、自分の文章を直したりしようとする姿。(関係構築力)</p> </div>		
個別	協働				
<p>3 グループで集まり、紹介文について検討する</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">A児の例文</th> <th style="width: 50%;">参考にした箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>毛づくろいする猿の夫婦。ああ、すっきりいい気持ち。その後ろには、背中を流そうと、ひしゃくをもってスタンバイする兎。そろそろ水をかけようかな。三匹のやりとりが、生き生きと表現されている様子がわかるね。 目や口が表す表情、ほっぺが赤くなっている様子。どれほど気持ちがいいのか、ほんのわずかな筆遣いで見事に表現している。</td> <td>蛙の絵には、投げ飛ばしたとたんの激しい気合いがこもっていることがわかるね。 ～中略～ 投げられたのに、目も口も笑っている。ほんのちょっとした筆さばきだけで、見事にそれを表現している。</td> </tr> </tbody> </table> <p>※このような内容を伝え合って紹介文について検討する。</p> <p>4 本時のまとめをする</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童の作品を抽出し、論の進め方に着目して工夫されている部分を全体で確認する。 今日はどんなことができたのかを振り返り、本時の個人課題に対する振り返りを記入する。 <p>私は高畑さんと同じように、まず絵が表している様子を説明した上で、それに対する自分の考えを述べるという構成で書くことを心掛けて書いた。これで読者は、絵のどの部分のことを述べているのか分かりやすくなり、自分の考えがより伝わると思う。</p>	A児の例文	参考にした箇所	毛づくろいする猿の夫婦。ああ、すっきりいい気持ち。その後ろには、背中を流そうと、ひしゃくをもってスタンバイする兎。そろそろ水をかけようかな。三匹のやりとりが、生き生きと表現されている様子がわかるね。 目や口が表す表情、ほっぺが赤くなっている様子。どれほど気持ちがいいのか、ほんのわずかな筆遣いで見事に表現している。	蛙の絵には、投げ飛ばしたとたんの激しい気合いがこもっていることがわかるね。 ～中略～ 投げられたのに、目も口も笑っている。ほんのちょっとした筆さばきだけで、見事にそれを表現している。	<p>●ホワイトボードに、自分たちが選んだ「鳥獣戯画」の拡大写真を貼り、その周りに自分の取り入れたい表現や論の進め方の工夫を付箋で張りながら、検討していく。</p> <p>○グループでの検討がより目的的となるために、ときには教師がグループの中に入り、仲間の紹介文が筆者の論の進め方のどこを生かしているのか確認したり、説明の仕方を生かすことで分かりやすくなった文章を広げたりする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【評価規準】</p> <p>筆者が自分の考えをより適切に伝えるために、どのように論を進めているのかについて考えている。</p> <p style="text-align: right;">[思考・判断・表現 C(1)ウ]</p> </div>
A児の例文	参考にした箇所				
毛づくろいする猿の夫婦。ああ、すっきりいい気持ち。その後ろには、背中を流そうと、ひしゃくをもってスタンバイする兎。そろそろ水をかけようかな。三匹のやりとりが、生き生きと表現されている様子がわかるね。 目や口が表す表情、ほっぺが赤くなっている様子。どれほど気持ちがいいのか、ほんのわずかな筆遣いで見事に表現している。	蛙の絵には、投げ飛ばしたとたんの激しい気合いがこもっていることがわかるね。 ～中略～ 投げられたのに、目も口も笑っている。ほんのちょっとした筆さばきだけで、見事にそれを表現している。				

【公開Ⅱ】 9年1組 国語科学習指導案

9年1組教室 野々村 琢磨

1 単元名 合意形成に向けて話し合おう

2 指導の立場

(1) 教材について

本単元は、中学校第3学年の内容「情報(2)ア 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる」および「A話す・聞く(1)オ 進行のしかたを工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりすることができる」にもとづく単元である。この単元では言語活動として会議の場を位置付ける。社会にある課題や身の回りにある問題点について、一人一人が解決方法を持ち寄り、グループで一つにまとめる会議を行うこととした。生徒が自分の考えを主張しながらも、他者の考えを尊重し、よりよい提案をつくっていくことを目指したい。

(2) 児童生徒について

本校の生徒は以前より、学級活動や生徒会活動等での話し合いの際には、自分の考えをもち、それを積極的に他者に伝えることができている。自分の考えを裏付ける根拠を明確に示しながら話すこともできている。その一方で、思いが強く、他者の考えを柔軟に受け入れることができないという弱さがみられる。また、自分の考えをもっているが、全体の場合などでは周囲の目や状

況を意識しすぎるあまり、自らの考えを提示できないという弱さもみられる。

そこで、本単元では、グループ会議を設定することで、一人一人の話す場が位置付けられ、自分の考えを変えたり、納得できる結論に向けて歩み寄りたりする場を設定する。そうすることが、合意形成に向かうために必要な資質能力を育むことにつながると考えた。

(3) 指導について

実社会においても、ありとあらゆる場面で合意形成が必要になる。家庭内で、職場で、時と場に応じて様々な立場の人と課題や問題の解決のために話し合うことがある。立場の違う人との間で合意形成を図るには、「心理的な納得」と「論理的な納得」が必要であり、どちらか一方のみではその後の解決に向けての行動に支障をきたしてしまう。

今回は、「東京の大学に進学したい子」と「地元の大学に進学してほしい親」との間でどのように合意形成を図るかを課題として設定した。このテーマを設定した理由は、先にも述べた「心理的な納得」と「論理的な納得」の2つの納得を満たすことができるように話し合いをさせたいと考えたからである。実生活の中でも起こりうる議論であり、子は子の、親は親のさまざまな考えや思いを抱いてこの問題に向き合うだろう。生徒たち自身でテーマを設定し、合意形成に向けて話し合いを進めていくという方法もあるが、合意形成を図るためには「論理的な納得」だけではなく「心理的な納得」も必要になるということを実感させるため、このようにテーマを設定することとした。

また、自分の意見や考えを押し通すのではなく、お互いの意見や考えの共通点を見出しながら納得できる結論を求めて歩み寄る建設的な話し合いができるよう、話型等を示しながら授業を展開していく。

3 単元指導計画

学年	第9学年	単元名	合意形成に向けて話し合おう（全7時間）
単元で育む資質・能力			
<p>・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。[知識及び技能]（2）ア</p> <p>・進行のしかたを工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりすることができる。 [思考力、判断力、表現力等] A（1）オ</p> <p>・合意形成に向けて粘り強く考えを広げたり深めたりし、納得できる結論を導き出すために話し合おうとしている。 [学びに向かう力、人間性等]</p>			
時	主な学習活動とねらい		評価規準
①	<p>単元の学習計画を立てよう。</p> <p>●提示された課題を確認し、今後の活動の見通しをもつことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元全体の見通しをもつ。 ・テーマを確認する。 ・合意形成を図る会議の仕方を知る。 		自分たちの解決すべき課題を知り、単元の見通しをもっている。[主体的に学習に取り組む態度]
② ③	<p>課題解決に向け、情報を集めよう。</p> <p>●課題解決に向けて、それぞれの立場で考えをまとめることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手を説得させられるような根拠となる情報を集める。 ・集めた情報が信頼性のあるものか確かめる。 		解決すべき課題を理解し、解決策を考え、そのために必要な情報を集めている。[知識・技能（2）ア]
④ 本時	<p>グループ会議を開き、提案をまとめよう。</p> <p>●立場や考えの違う者同士での会議を通して、誰もが納得できる結論を導くためには「論理的な納得」と「心理的な納得」の両者が必要であることに気付き、よりよい結論を導き出すために考えを広げたり深めたりしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループの仲間に向け、自分の考えを提案する。 ・納得できる結論を求めて、会議を行う。 		仲間の発言の共通点や相違点を見つけ出し、自分の考えを変えたり、互いが納得できる結論を求めたりしながら話し合っている。[思考・判断・表現 A（1）オ]

⑤	<p>単元を振り返ろう。</p> <p>●合意形成を図るためには、仲間の意見に合わせて自分の考えを調整しながら、互いが納得できるような結論を求めて話し合いを進めることが必要だと理解することができる。</p> <p>・単元の振り返りを行う。</p>	<p>自分の考えを押し通すのではなく、仲間の意見に合わせて調整したり、互いに納得できる結論を求めたりしながら合意形成を図ることの必要性を感じている。[主体的に学習に取り組む態度]</p>
単元で自己実現に向かうための資質・能力を発揮している姿		
問題解決力	合意形成に向けて、根拠を明確にしながら自分の考えをまとめ、仲間と積極的に意見を出し合いながらよりよい答えを求め続ける姿。	
関係構築力	自分の意見と仲間の意見を比較しながら聞き、合意形成に向けて意見を変えたり納得できる結論を見出したりしながら会議に臨む姿。	
貢献する人間性	共通点や相違点を整理し、課題解決に向けて互いの意見や考えを生かそうとする姿。	
自己実現に向かうための資質・能力を発揮している姿の見届けの視点と手立て		
問題解決力	単元や単位時間、次時への見通しをもった上で自分の学習目標を設定し、単位時間ごとに課題意識をもちながら取り組んでいるか、学習記録表から見届ける。	
関係構築力	グループ会議の中で、課題解決に向けての自分の考えを提案したり、仲間の意見を聞き、自分の意見を修正したり納得できる結論を見出したりしているかを見届ける。	
貢献する人間性	自分の意見を仲間の意見と比較して聞いたり、仲間の意見を生かそうとして聞いたりしているか、グループ会議の様子から見届ける。	

4 教科にかかわる本時のねらい

立場や考えの違う者同士での会議を通して、誰もが納得できる結論を導くためには「論理的な納得」と「心理的な納得」の両者が必要であることに気づき、よりよい結論を導き出すために考えを広げたり深めたりすることができる。〔思考力、判断力、表現力等〕A(1)オ

5 本時の展開(4/5)

児童生徒の学習活動		教師の手立てと見届け									
<p>1 本時の課題、活動の流れを確認する</p> <ul style="list-style-type: none"> 今日は、各自の立場に合わせて提案をし、議論を進めていく。 <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">グループ会議を開き、提案をまとめよう。</p> <p>2 グループ会議に向けての準備をする</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の思いを実現するために、論の展開や効果的な情報の提示方法について再確認をする。 事前に必要な資料を、タブレット端末等にまとめておく。 <p>3 グループ会議を開く</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>東京の大学に進学したい子</th> <th>地元の大学に進学してほしい親</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">論理的な納得</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 最先端の設備が整っている大学である 目指している大学の進学実績、合格率は申し分ない </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 地元の大学の設備は整っている 進学実績、合格率も十分である 一人暮らしをするためには、かなり費用が掛かる </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">心理的な納得</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 勉強と部活動を両立させる バイトもしながら、仕送りだけに頼らない生活をする <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">具体的な数値やグラフを示しながら説明することが難しい</p> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 家事をこなしながら、勉強できるのか 東京での生活が心配である <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">相手が何を求めているのか、何を解決すれば自分の考えに納得してもらえるのかを探り、これまでの経験を語ったり、や手持ちの資料を提示したりする</p> </td> </tr> </tbody> </table>			東京の大学に進学したい子	地元の大学に進学してほしい親	論理的な納得	<ul style="list-style-type: none"> 最先端の設備が整っている大学である 目指している大学の進学実績、合格率は申し分ない 	<ul style="list-style-type: none"> 地元の大学の設備は整っている 進学実績、合格率も十分である 一人暮らしをするためには、かなり費用が掛かる 	心理的な納得	<ul style="list-style-type: none"> 勉強と部活動を両立させる バイトもしながら、仕送りだけに頼らない生活をする <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">具体的な数値やグラフを示しながら説明することが難しい</p>	<ul style="list-style-type: none"> 家事をこなしながら、勉強できるのか 東京での生活が心配である <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">相手が何を求めているのか、何を解決すれば自分の考えに納得してもらえるのかを探り、これまでの経験を語ったり、や手持ちの資料を提示したりする</p>	<p>(●教科の資質・能力 ○自己実現に向かう資質・能力)</p> <p>○●単元全体の流れや、本時の会議の目的が明確になるような掲示を用意し、黒板に示す。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 研究にかかわって 【見届けの視点】 課題解決に向け、根拠を明確にしなが提案することができているか、会議の様子やタブレット端末の録音機能を活用して見届ける。(問題解決力) 相手の意見や考えを尊重し、共通点や相違点を見出しながら会議が進行できているか、会議記録やプリントへの記述から見届ける。(関係構築力) </p> <ul style="list-style-type: none"> ●会議の進行方法については予め説明をし、随時確認ができるようにタブレット端末に資料を用意しておく。 ●話し合いが停滞しているグループについては、現在の状況を整理し、以下のどのような動きが必要であるかを考えさせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・発言を促す。 ・新たな情報(根拠)を提示する。 ・論点を整理する。 ・互いの意見を整理する。 ・納得できる結論を見つける。 <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 【評価規準】 グループ会議の中で共通点や相違点を見つけ、自分の考えを変え、誰もが納得できる、話し合いをしている。〔思考・判断・表現 A(1)オ〕 </p>
	東京の大学に進学したい子	地元の大学に進学してほしい親									
論理的な納得	<ul style="list-style-type: none"> 最先端の設備が整っている大学である 目指している大学の進学実績、合格率は申し分ない 	<ul style="list-style-type: none"> 地元の大学の設備は整っている 進学実績、合格率も十分である 一人暮らしをするためには、かなり費用が掛かる 									
心理的な納得	<ul style="list-style-type: none"> 勉強と部活動を両立させる バイトもしながら、仕送りだけに頼らない生活をする <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">具体的な数値やグラフを示しながら説明することが難しい</p>	<ul style="list-style-type: none"> 家事をこなしながら、勉強できるのか 東京での生活が心配である <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">相手が何を求めているのか、何を解決すれば自分の考えに納得してもらえるのかを探り、これまでの経験を語ったり、や手持ちの資料を提示したりする</p>									
<p>4 本時のまとめ、次時の活動内容を確認する</p> <p>今日は、グループ会議を行った。実際に話をしてみると、なかなか思ったように結論をまとめることができなかつた。例えば、大学の設備は必要な費用、その後の実績等、データとして明確に出ているものを見せられれば、その提案について頭の中では納得することができる。しかし、頭ではわかっている、自分の気持ちがそちらに向かない場合、どんなに根拠の強い情報を示されたとしても、すんなりと納得することはできない。「論理的な納得」については合意できたとしても、「心理的な納得」についてはなかなか合意に導くことができなかつた。ここで、お互いがどのように歩み寄って合意を図っていくか、今後考えていきたい。</p>											